

《コース専門教育科目 コース専門基礎科目》

科目名	図画工作科教育法				
担当者氏名	笠川 武史				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択必修	開講年次・開講期	3年・春期

《授業の概要》

図画工作教育は、児童が感性を働かせながら、つくりだす喜びを味わうようにするとともに、造形的な創造活動の基礎的な能力を育成することを重視する。そのために、学習指導要領の内容を把握し、指導に必要な知識を身につける。子どもの表現力を引き出すために造形及び色彩理論を身につけ、作品制作を通して自己表現力を高める。学習指導案を作成し、発表する。

《授業の到達目標》

- ・図画工作科の役割や特性をふまえ、指導計画を立て、題材研究を行えるようにする。
- ・図画工作科の学習内容について指導上の留意点を理解し、指導のための造形及び色彩理論を身につける。
- ・計画や理論をもとに制作し、教育現場で実践していく力を培う。

《成績評価の方法》

- ・平常点(受講態度など) 20%
- ・学習内容のまとめやシート、実践作品の内容 50%
- ・最終課題(学習指導案及び発表)の内容 30%

《テキスト》

- ・平成20年「小学校学習指導要領 図画工作編」日本文教出版
- ・大学美術指導法研究会 平成21年「平成20年告示新学習指導要領による「図画工作科」指導法 理論と実践」日本文教出版

《参考図書》

適宜、資料を配布する。

《授業時間外学習》

- ・日頃から、造形・色彩分野に興味や関心を持っておく。
- ・学習指導要領については予習と復習を十分行い、内容を把握する。
- ・作品制作については毎回の授業がつながるように、振り返りと次回に向けての準備と工夫を心掛ける。

《備考》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	ガイダンス	図画工作教育の意義と目的・目標・内容と構成
2	造形遊び(1)	領域「A表現(1):材料を基に造形遊びをする」(1)学習指導の実際「身近な材料」の基礎
3	造形遊び(2)	領域「A表現(1):材料を基に造形遊びをする」(2)学習指導の実際「身近な材料」の応用
4	絵や立体、工作に表す	領域「A表現(2):表したいことを絵や立体、工作に表す」(1)領域の特性と各学年の学習内容
5	絵に表す	領域「A表現(2):表したいことを絵や立体、工作に表す」(2)学習指導の実際「絵」
6	立体・工作に表す(1)	領域「A表現(2):表したいことを絵や立体、工作に表す」(3)学習指導の実際「立体・工作」
7	立体・工作に表す(2)	領域「A表現(2):表したいことを絵や立体、工作に表す」(3)学習指導の実際「立体・工作」
8	鑑賞(情報機器を使用して)	領域「B鑑賞」領域の特性と各学年の学習内容
9	学習指導案(1)	学習指導案の構成と理解・作成および参考作品制作と学習評価について
10	表現の発達段階(情報機器を使用して)	子どもの成長とカリキュラム (1)表現の発達特性 (2)学びの連続性
11	表現の基礎的知識	造形要素・造形原理および色彩論
12	学習指導案(2)	学習指導案および参考作品発表(模擬授業)
13	学習指導案(3)	学習指導案および参考作品発表(模擬授業)
14	学習指導案(4)	学習指導案および参考作品発表(模擬授業)
15	まとめ	授業の振り返りと、授業設計向上のためのレポート作成